



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年10月31日

上場会社名 旭精機工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6111 URL <http://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山口 央
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 神谷 真二 TEL 0561-52-5356
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,622	2.6	111	△52.7	151	△41.9	107	△78.5
2019年3月期第2四半期	6,452	4.4	236	17.3	260	8.8	497	220.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	44.40	—
2019年3月期第2四半期	196.40	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,622	12,717	68.3
2019年3月期	19,031	12,924	67.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 12,717百万円 2019年3月期 12,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	70.00	70.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	5.6	570	1.0	630	1.8	450	△41.1	186.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	3,088,739株	2019年3月期	3,088,739株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	677,108株	2019年3月期	676,944株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,411,720株	2019年3月期2Q	2,535,298株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調を示したものの、各国の通商政策をはじめとする海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念される等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社におきましては、積極的な営業活動を展開するとともに、生産性の向上、コスト削減の徹底等に注力してまいりました結果、売上高は66億2千2百万円と前年同期比2.6%増加したものの、利益面につきましては、精密金属加工品において前年同期の一過性の受注拡大がなかったこと、プレス機械等の売上が下期へずれ込んだこと、及び展示会出展費用が増加したこと等から、営業利益は1億1千1百万円と前年同期比52.7%の減少、経常利益は1億5千1百万円と前年同期比41.9%の減少となり、また、四半期純利益は前年同期に特別利益として計上しました投資有価証券売却益がなく、1億7百万円と前年同期比78.5%の減少となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

[精密加工事業部]

精密加工事業部における当第2四半期累計期間の売上高は、33億1千4百万円と前年同期比9.5%の減少となり、その内容は以下のとおりです。

「精密金属加工品」は、主に自動車関連部品及び水晶振動子関連部品が減少したことから、20億7千4百万円と前年同期比10.4%の減少となりました。「小口径銃弾」は、12億3千9百万円と前年同期比8.0%の減少となりました。

[機械事業部]

機械事業部における当第2四半期累計期間の売上高は、33億8百万円と前年同期比18.6%の増加となり、その主な内容は以下のとおりです。

「プレス機械」は、主にリチウムイオン電池缶製造用プレスの輸出が増加したことから、20億2千2百万円と前年同期比25.0%の増加となりました。「ばね機械」は、自動車関連向けが増加したことから、4億5千8百万円と前年同期比15.2%の増加となりました。「自動機・専用機」は、自動車関連向けが増加したことから、4億2千1百万円と前年同期比49.7%の増加となりました。「航空機部品」は、旅客機用部品が増加したことから、3億7千2百万円と前年同期比28.0%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は前期末より4億8百万円減少し、186億2千2百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億9千9百万円、製品が2億7百万円、仕掛品が2億1百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が9億4千7百万円、投資有価証券が2億2百万円それぞれ減少したことによるものです。負債につきましては、2億1百万円減少し、59億5百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの、電子記録債務が2億7千7百万円、未払法人税等が1億3千5百万円、支払手形及び買掛金が3千7百万円それぞれ減少したことによるものです。純資産につきましては、2億6百万円減少し、127億1千7百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億4千4百万円、利益剰余金が6千1百万円それぞれ減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は32億8千9百万円となり、前期末より2億9千9百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりとなっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は3億9千3百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少で4億2千4百万円及びたな卸資産の増加で4億1千7百万円減少したものの、売上債権の減少で9億3千3百万円及び減価償却費で3億8千6百万円計上したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は3億2千万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得で2億8千6百万円支出したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は2億2千6百万円となりました。これは主に、配当金で1億6千8百万円支出したものの、短期借入金による収入4億円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年4月25日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,990,116	3,289,283
受取手形及び売掛金	3,007,559	2,060,218
電子記録債権	1,022,592	1,036,294
製品	148,630	356,338
仕掛品	2,691,767	2,892,974
原材料及び貯蔵品	695,981	704,367
その他	85,096	71,170
貸倒引当金	△6,400	△4,500
流動資産合計	10,635,344	10,406,146
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,188,177	2,140,257
機械及び装置(純額)	1,809,585	1,766,155
その他(純額)	1,228,914	1,340,321
有形固定資産合計	5,226,676	5,246,734
無形固定資産	105,921	110,862
投資その他の資産		
投資有価証券	2,872,843	2,670,439
その他	191,054	188,693
貸倒引当金	△298	-
投資その他の資産合計	3,063,598	2,859,132
固定資産合計	8,396,196	8,216,729
資産合計	19,031,541	18,622,876

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,005,097	967,181
電子記録債務	2,052,632	1,775,607
短期借入金	900,000	1,300,000
未払法人税等	212,518	77,072
賞与引当金	263,894	236,829
役員賞与引当金	30,000	-
その他	509,996	472,311
流動負債合計	4,974,139	4,829,002
固定負債		
退職給付引当金	770,022	778,545
その他	362,973	297,758
固定負債合計	1,132,996	1,076,304
負債合計	6,107,135	5,905,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	5,226,438	5,164,692
自己株式	△1,427,532	△1,427,901
株主資本合計	11,442,525	11,380,410
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,481,880	1,337,159
評価・換算差額等合計	1,481,880	1,337,159
純資産合計	12,924,405	12,717,569
負債純資産合計	19,031,541	18,622,876

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	6,452,179	6,622,712
売上原価	5,432,167	5,655,980
売上総利益	1,020,011	966,732
販売費及び一般管理費	783,806	855,034
営業利益	236,205	111,697
営業外収益		
受取利息	308	244
受取配当金	31,316	28,689
固定資産賃貸料	16,619	16,991
その他	2,889	4,892
営業外収益合計	51,133	50,817
営業外費用		
支払利息	2,486	3,465
為替差損	12,644	479
固定資産賃貸費用	6,978	6,403
その他	5,028	915
営業外費用合計	27,137	11,265
経常利益	260,200	151,249
特別利益		
投資有価証券売却益	449,987	-
固定資産売却益	9,777	-
特別利益合計	459,765	-
税引前四半期純利益	719,965	151,249
法人税等	222,040	44,170
四半期純利益	497,925	107,079

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	719,965	151,249
減価償却費	348,469	386,723
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,493	△2,198
賞与引当金の増減額(△は減少)	△91,628	△27,064
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,745	8,522
受取利息及び受取配当金	△31,624	△28,933
支払利息	2,486	3,465
投資有価証券売却損益(△は益)	△449,987	-
売上債権の増減額(△は増加)	362,833	933,639
たな卸資産の増減額(△は増加)	△737,398	△417,301
仕入債務の増減額(△は減少)	207,235	△424,965
その他	△134,411	△39,702
小計	198,192	543,434
利息及び配当金の受取額	31,744	29,053
利息の支払額	△2,095	△3,883
法人税等の支払額	△159,247	△174,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,594	393,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500,000	-
有形固定資産の取得による支出	△360,904	△286,578
有形固定資産の売却による収入	16,830	739
無形固定資産の取得による支出	△21,912	△32,036
投資有価証券の取得による支出	△1,924	△2,054
投資有価証券の売却による収入	539,922	-
その他	△358	△1,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	671,653	△320,972
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	400,000
自己株式の取得による支出	△1,080,762	△369
配当金の支払額	△198,435	△168,400
その他	△6,590	△4,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,285,788	226,257
現金及び現金同等物に係る換算差額	72	△50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△545,468	299,166
現金及び現金同等物の期首残高	4,546,500	2,990,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,001,032	3,289,283

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。